

【書類名】要約書

【要約】

【課題】 遠心力を利用した推進装置の推進効率と耐久性の構造を図る。

【解決手段】 基準となる円軌跡形状の内壁面で囲まれた領域内に、円軌跡と同軸で強制的に回転される回転体8を取り付け、その回転体8に、回転中心を横断する軸方向に移動可能な移動体12を組み込む。移動体12は両端に錘11、11を有し、前記円軌跡の径を10とした場合9に相当する差し渡し寸法に形成されている。前記内壁面には、ガイド部材として、基準回転領域の周囲に連続してなだらかに回転領域内へせり出した膨出壁14が設けられており、遠心力の作用で錘11(11A)がその膨出壁14に添って旋動するにつれて移動体12は押し返され、1/2に相当する距離を押し戻された点P3通過時点で、中心からの距離が遠い方の錘11(11A)と近い方の錘11(11B)との位置関係が変更される。

【選択図】 図3